

第 50 回議会報告会 ～テーマ別タウンミーティング～

[市民福祉委員会]

開 催 日：令和 7 年 5 月 10 日（土）

場 所：中央公民館 和室

参加人数：11 人（内訳：会場参加者 6 人、議員 5 人）

【テーマ】「高齢化が進む知立市における健康づくりと交流促進、安心な暮らしのための課題と方策」

«主な意見・内容»

① 予防医療・特定健診について

- ・75 歳以上への定期健診の無料化など、予防医療の拡充により将来的な医療費を抑制してほしい。
- ・40 歳以上の特定健診受診率向上が課題（受診率約 4 割）。特に未受診者を対象とした年代別・属性別の個別フォロー（民生委員・医療機関・訪問活動など）の充実が必要。
- ・福祉体育館・保健センター等での運動プログラムや食事指導は充実しているが、広報・参加促進が十分でない。

② 交流拠点と参加促進について

- ・「ひだまりサロン」のような気軽に集まれる場は、顔見知りづくりや孤立防止に大きく寄与する。
- ・男性高齢者は地域活動への参加経験が乏しく、認知症・孤独死リスクが高まりやすい。麻雀やスポーツ等、男性が参加しやすいプログラムの企画が望ましい。
- ・公民館での趣味クラブやサロン活動は有志ベースで活発化している一方、スペースや物品の制約があり、多人数対応が困難な場合もある。

③ 生涯学習補助金・町内会費の活用について

- ・趣味グループや交流サロンへの支援策として生涯学習補助金があるが、活動報告や経費要件が煩雑で利用しづらい。

- ・町内会費を活用して独自に助成を行い、公民館の利用率向上やコミュニティ活発化につなげている事例がある。

- ・高齢者の中には「老老見守り」に限界を感じる声も。新たな世代が気軽に関われる支援策が必要。

④ 一人暮らし高齢者の安心・終活支援について

- ・一人暮らし世帯の増加に伴い、孤立死のリスクが深刻化。新聞・宅配業者など多主体連携で見守り体制を強化できないか検討中。

- ・終活への関心は高く、市の出前講座（エンディングノート等）は人気があるが、開催枠がすぐに埋まってしまう。

- ・高齢者本人だけでなく、家族・近隣住民が終活や見守りに関する知識を得られる機会を増やす必要がある。